

院内研修会報告

平成28年5月31日（火） 17：45～19：00 会議室

豊田地域医療センター総合診療科（副部長）在宅医療支援センター長である大杉泰弘先生に「在宅医療」について講義して頂きました。今回、当院スタッフだけではなく、法人以外の事業所様の参加もあり、多くの方に参加して頂きました。



勉強会に参加して・・・

リハビリテーション部 作業療法士 西田健二

今回、在宅医療の実際について事例を通してわかりやすく講義して頂いたので、在宅復帰を目指す回復期リハ病棟スタッフとして何をやるべきか再確認することができました。また、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）問題における政策動向など高齢化社会についてもお話しがあり、今後の地域包括ケア時代におけるリハビリテーションの重要性を改めて感じました。医療から介護へ、介護から地域へといつまでも自分らしい生活の継続を提供できるよう日々、努力していきたいと思えます。

勉強会に参加して・・・

看護・介護部 看護師 澤田加奈子

高齢化社会が進む中で、医療も介護も大きく変化しており、私たち回復期リハ病棟の役割も、今後更に期待されることを学ぶことができました。ADLの向上はもちろんの事、患者様のQOLにしっかりと目を向けられるようなチーム医療を目指していきたいと思います。

勉強会に参加して・・・

看護・介護部 看護師 助村龍哉

今後來るであろう2025年問題から在宅で療養する在宅医療について詳しく教えて頂きました。事例を通して、患者様の状態と向き合いながら患者様が生きる事をまっとうしてもらえるようにチームで支えていく姿や、生きがいを探しその人となりを支えるように、各職種が自分達のできる事を工夫提案しながら関わる姿は感動しました。

勉強会に参加して・・・

リハビリテーション部 作業療法士 佐藤吉範

今回のご講演の中で、在宅アプローチでの具体的な目標設定を早期に在宅医療チームで検討し、実施する行動力に素晴らしさを感じました。回復期でもチーム医療と言われますが、患者のニーズに対してよりの確に、またスピーディーに動作に移すチームワークの大切さに改めて気づく機会となりました。日々の臨床業務に活かしていきたいと思います。

勉強会に参加して・・・

リハビリテーション部 理学療法士 岡田愛子

今回、大杉泰弘先生の講演を聞き、一番大切なのは患者さんの気持ち・希望であり、その目標に向かってチーム一丸となってアプローチをしていくことの重要性を改めて感じました。回復期メンバーとしては、退院がゴールではなく、その先の生活目標も見据えアプローチしていき、また生活期との連携が大切だと感じました。